

立教南無
850
年



第194号

令和5年
7月7日発行
お盆号

西光



坊主のつぶやき お盆のお祀り

今月のことば ~門前掲示板より~

No 仏教, No Life 仏教を学んでどんないいことがあるのでしょうか？

怒りの鎮め方

施餓鬼会のご案内

棚経のご案内

お知らせ



浄土宗西山禅林寺派
雲龍山 西光寺
住職 大塚靈閑

〒671-0101 姫路市大塩町229
Tel 079-254-0351 Fax 079-254-4142



西光寺公式
LINEアカウント
ID : @495ehfde

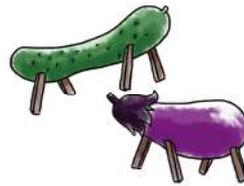
坊主のつぶやき



ほっそりしたナスの馬、ぽっちゃりしたきゅうりの牛でもいいのだろうか…時期ものでいえばズッキーニの馬と冬瓜の牛(ブカい)でもいいのだろうか…形がいえばバナナも適任な気が…

お盆のお祭りといえば…

早く帰って来て欲しい
思いからきゅうりの馬



お土産をたくさん載せて、
ゆっくりとお帰り下さいと
の思いからナスの牛

日本人の毎日の生活に欠かせない動物として、かつては身近な存在であった牛と馬。そして手に入りやすい旬の野菜とということ、ほっそりの代表選手＝きゅうり、ぽっちゃりの代表選手＝ナス。
しかし江戸時代の俳人、小林一茶の俳句にこんな句があります。
すね茄子 馬役を 相つとめけり
不本意ながらもなすびが本来きゅうりが担うはずの馬役も勤めさせられて少々すねているのでしょうか。代役でも大丈夫なようです。

「お盆のお祭りはどのようにつぶやきすればよいですか」という質問をよく頂きます。

『仏説孟蘭盆経』というお盆の由来になつてお経があります。目連というお釈迦さまの弟子が母を餓鬼道の苦しみから救い出すという話が説かれています。その救い出す方法というのが、
僧侶が雨季の修行を終える七月十五日に、様々な食べ物と果物を盛つて、水を汲み灌ぐ器、香油、灯明、敷物を敷き、寝具を整え、世の甘美を尽くした食べ物をお盆の中に盛り、修行僧に供養すれば、その仏道を修する人々のすぐれた力によつて救い出すことができるといふのです。

「なにっ一世の甘美を尽くして供養せよですと…しかも僧侶に!?!」お盆のお参りに来た僧侶をねぎらい盛大に接待せよといふわけではないので、誤解なきよう。

お盆は仏教に由来がある行事とはいえ、日本古来の風習も色濃くミックスされており、地域色もさることながら家ごとにお祭りの仕方が違い、正解はありません。

とはいえ何でもいいですというのが一番困る回答なわけです。ポイント、賑やかしく飾りつけをして(提灯や蓮の華などももてなしアイテムの一つです)、時期のものをたくさんお供えすることです。なんだか余計なプレッシャーをおかけしているような気も致しますが…久しぶりに帰ってくる方々をおもてなししようというのが一番の趣旨です。困った時はスーパーのお盆コーナーからチョイスされてもいいですし、故人の好きだったもの、いつもよりちょっと工夫を一つお供えする。それもまたよしです。結局詳しく書かんのかい…

話は変わりますが、今年のクリスマスイブに娘が、「サンタさんにお茶でも飲んで休んでいってもらうか」とプレゼントあげがとうと書かれた手紙と一緒にお茶をクリスマスツリーの傍に用意していました。「サンタさん、忙しいからそんなゆっくりできないと思つたよ」と言つたもの、今思つとお盆のお祭りもこのおもてなしの気持ちか…と思つた次第です。

今月のことば

く 門前掲示板より く

五月

他人の過ちは見やすく

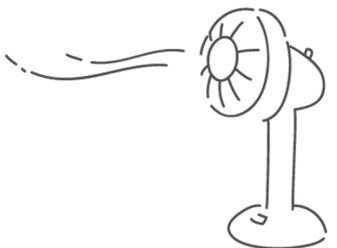
おのれの過ちは見難い

他人の罪は風のように

四方に吹き散らすが

おのれの罪は

さいころを隠すように隠したがる



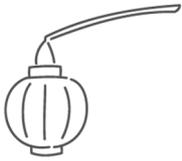
ブツダ

四月

「ありがたい」が「あたりまえ」になり

「あたりまえ」は「もっと」になり

「もっと」が過ぎると愚痴・怒り・恨みとなる



六月

「気にしない」が「気にしない」

「ひんやすみ」が「ひんやすみ」

「休まん」

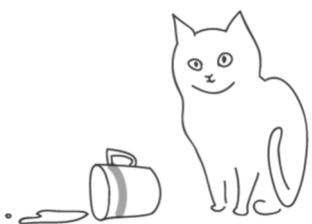


七月

怒りを持ちつづけるのは

たいへん疲れます

「許せる」と思えば案外許せる



No 仏教, No Life

仏教を学んで どんないいことが あるのでしょうか？

怒りの鎮め方

ふと毎月の門前掲示板に書いている言葉は「怒り」に関するものが多いことに気づきました。怒りはいわゆる煩悩ぼんのうの一つなのですが、そもそも煩惱ぼんごって分かったような分からないような言葉です。除夜の鐘で消していく一〇八個あるとかないとかいわれるやつ…そうですね。その数多い煩悩の根本的なもの、まさに諸悪の根源が三つあり(三毒煩悩さんどくぼんご)、その内の一つがこの「怒り」です。ちなみに煩惱の火が吹き消された安らぎの状態が悟りの境地で、涅槃ねはん、サンスクリット語でニルヴァーナといいます。九〇年代のアメリカのロックバンドにもいました。

要は、煩悩は「**持っている**と**自分が苦しむもの**」です。とはいえ煩悩の塊の私達には煩悩を無くすことは不可能です。というわけです。持っているが苦しむのであれば現実的な対処法としては「**怒りから離れる、怒りを遠ざける**」となります。

今風にいえばアンガーマネジメントです。アンガー(怒り)をマネジメント(管理)する。人間関係を円滑にする上で欠かせないということも多く企業の研修の場でも取り入れられています。会社に限らず、近所付き合い、友達関係、家庭内での育児、介護に至るまであらゆるものに関わってきます。横文字になるとなんだか最先端の考え方のように思いますが、ブッダは二五〇〇年前に既におっしゃっています。門前掲示板を振り返りながら、怒りへの対処法を整理してみます。

「時間」をおいてみる

腹がたったら 十まで数えよ
うんと腹がたったら 百まで数えよ

怒りは六秒でピークに達するそうです。よく深呼吸して一息入れるといいます。ちゃんと理にかなっていらんす。咄嗟の行動に出る前に怒りがピークを越えるのをとりあえず待つてみるの
は二つの手です。

「距離」をとってみる

憎たらしい相手の顔を睨みつけても、罵り続けても怒りは収まりません。それどころか余計に倍増します。オコナと怒りの対象から離れてしまつのが賢者です。距離をとるといふのは環境を変える、冷静になれる環境を作るといふことです。

怒れる者に怒り返す者は、
二つの勝利を得るのである。
他人の怒れるを知りて、

正念におのれを鎮める者は、
よくおのれに勝つととも、

また他人に勝つのである。(ブツダ)

持ち続けない

恨みは恨みによつて静まるものではなく
恨みを忘れることによつてのみ鎮まるの
である。(ブツダ)

グチグチ愚痴は得策ではありません。怒りの連鎖を切ることは何よりも大事なことです。クソと怒るより、気の毒だなと許せるくらいの方が私も欲しいです。ブツダは「いつも言います。

温和な気の満ちている人は、水の上に文字を書いて、流れて形にならないように、
少しも心に跡を留めることがない。
(ブツダ)

いつも自分だけが正しい？

私のものナリで問うのではなく

私のものナリが問われる

お寺の掲示板大賞にも選ばれている言葉です。なかなか深い！

自分に返してへくと認識しておく

先号の『西光』で書かせて頂きました。相手が罵りを受け取らなかった場合、自らが言った言葉はすべて、自身が受け取ることになります。

人が生まれた時には、実に口の中には斧が生じている。愚者は悪口を言つて、その斧によつて自分を斬り裂くのである。

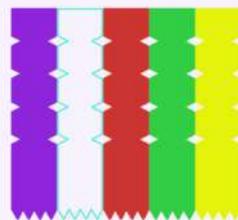
(ブツダ)

他人は変えられないと認識しておく

どうにもならぬ他人と過去
どうにでもなる自分と未来
限られた時間をどうぞ大切に。

ブツダは言います。

自分の救済者は自分自身である。

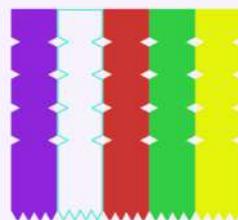


施

餓

鬼

会



永代施餓鬼会

日時

8月7日(月)

午前6時～

※受付は11時まで

永代施主家へは別途ご案内をさせていただきます。
尚、永代霊位につきましては、お参りにみえない場合でも、
住職が代わりに焼香の上、お参りさせていただきます。

一般大施餓鬼会

日時

8月16日(水)

午前6時～

※受付は11時まで

えこうりょう

回向料：1霊 3,000円

※特にお申込み数の制限はありません。初盆の方も同額です。

上記の時間内で、ご都合のよい時にお越し下さい。受付順にご回向致します。

棚経のご案内



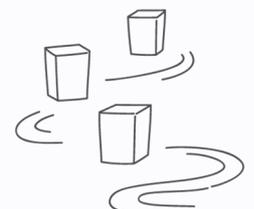
8月のお盆参り

棚経って何？

お盆に帰ってこられるご先祖の精霊をお迎える棚(壇)^{しよりのうだな}を「精霊棚(盆棚)」といいます。今では別に作らず、仏壇の前に小机を置きお供えすることが多いですが、かつては仏壇とは別にお盆用のしつらえを仏壇脇や縁側にして、この精霊棚に僧侶がお参りしたので、八月のお盆月のお参りは特別に「棚経」といいます。

- 1日（火） 大阪
- 2日（水） 加古川・加古郡・明石・神戸(垂水区) 7時～
- 3日（木） 救鱗寺 施餓鬼会出仕
姫路(飾磨・夢前) 午後～
- 4日（金） 神戸(垂水区・須磨区・長田区・兵庫区)
- 5日（土） 神戸(西区・北区・中央区・灘区)・芦屋・西宮
- 6日（日） 姫路市内・太子 8時～
- 7日（月） 当山 永代施餓鬼会
- 8日（火） 高砂・加古川平津 7時～
- 9日（水） 蓮華院 施餓鬼会出仕
- 10日（木） 的形、木場、八家、東山、白浜 7時～
- 11日（金） 西岸寺 施餓鬼会出仕
- 12日（土） 大鳥・御着・佐土・佐土新 7時～
北脇・西浜 午後～
- 13日（日） 大塩町内(中ノ丁・西ノ丁) 6時～
- 14日（月） 大塩町内(東ノ丁・宮本丁) 6時～
- 15日（火） 観音寺 施餓鬼会出仕
- 16日（水） 当山 一般大施餓鬼会
- 23日（水） 地藏盆(大塩各丁・的形岩鼻 地藏堂参り)

※ 8月の月参り(お逮夜参り)はお休みを頂きます。



お知らせ



令和6年、浄土宗は850年を迎えます

宗祖法然上人

立教開宗850年特設サイト

<https://honen850.jp/>



ご逝去の報

宮本町	井澤玲子さん(93歳)	令和5年3月6日寂
西ノ丁	井神保富さん(89歳)	令和5年3月22日寂
東ノ丁	魚住実さん(75歳)	令和5年3月30日寂
東ノ丁	藤井政子さん(87歳)	令和5年4月3日寂
東ノ丁	濱田陽子さん(91歳)	令和5年4月9日寂
神戸	梶原洋子さん(72歳)	令和5年4月15日寂
宮本町	山下初雄さん(86歳)	令和5年6月6日寂

今後の行事予定

- ◆ 秋のお彼岸法要
9月24日(日) 午後1時～
- ◆ お十夜法要
11月26日(日) 午後1時～
- ◆ 除夜の鐘・修正会
12月31日(日) 午後11時40分頃～

西光寺役員のご去就

退任

東ノ丁 木村昭子さん
西ノ丁 入江廣美さん

木村昭子さんは平成13年より、入江廣美さんは平成25年より世話人をお務め頂き、長年に渡り当山の運営を支えて頂きました。お二方ともお寺の行事に加え、本山や各所へのお参り、寺子屋等にも熱心にご参加頂きました。長い間大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

就任

東ノ丁 古賀明子さん
西ノ丁 奥野明美さん

この度新たに古賀明子さんと奥野明美さんに世話人にご就任頂くことになりました。お世話になりますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

編集後記

去る4月に先代住職の7回忌と先々代の50回忌を勤めました。私、今年40歳になりましたので、83歳まで生きていれば50回忌が勤められるのか…少々際どい。なんとか生きていても僧侶を引退しているかもしれぬ…そんな先のことを考えてもしょうがない。その前に、あと26年後に西光寺は500歳になります。これまたまだまだ先の話。しかしなんだかとてもつらいものを背負っているよう…

そんなことより、まずはこの夏を乗り越えましょう。